

2022年6月14日

報道関係各位

一般社団法人 くすりの適正使用協議会
日本製薬工業協会

くすりの適正使用協議会・日本製薬工業協会による共同制作・公開

ポリファーマシーに関する啓発動画

「あなたのくすり いくつ飲んでいますか？」

～ 監修：東京大学 秋下雅弘教授および厚生労働省 ～

一般社団法人くすりの適正使用協議会（理事長 俵木登美子）、および日本製薬工業協会（会長 岡田安史、以下、製薬協）は、医薬品の適正使用の推進のため、ポリファーマシーに関する一般の方向け啓発冊子「あなたのくすり いくつ飲んでいますか？」を共同制作し、普及啓発に努めてまいりました。

この度、啓発冊子の内容をわかりやすく表現した動画版を制作し、両団体のウェブサイトに公開しましたので、お知らせいたします。

「あなたのくすり いくつ飲んでいますか？」
動画視聴およびダウンロードサイト



○くすりの適正使用協議会ウェブサイト

<https://www.rad-ar.or.jp/knowledge/post?slug=polypharmacy>



○製薬協ウェブサイト

https://www.jpma.or.jp/news_room/movie_ad/movie/polypharmacy.html



本件に関するお問合せ先

くすりの適正使用協議会 広報部 電話 03-3663-8891

日本製薬工業協会 広報部 電話 03-3241-0374

＜参考資料＞ ポリファーマシーに関する一般の方向け啓発動画
「あなたのくすり いくつ飲んでいますか？」について

【経緯】

ポリファーマシーの問題につきましては、厚生労働省において、2017年4月に「高齢者医薬品適正使用検討会」を設置し、安全性確保に必要な事項の調査・検討を進め、2018年5月に「高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編）」が、2019年6月に「高齢者の医薬品適正使用の指針（各論編（療養環境別）」）が取り纏られています。これらの指針は、医師、歯科医師、薬剤師を対象としたものですが、同検討会においては、患者さんや国民へのポリファーマシーに係る啓発の重要性についても指摘されています。

【目的】

高齢者の一人ひとりに、高齢者でくすりが増える理由や副作用の起こりやすさ、日ごろから注意しておくことを知っていただき、何か変だと感じたときには医療関係者への相談に繋げてもらうことを目的に、一般の方向け啓発冊子「あなたのくすり いくつ飲んでいますか？」を両団体で共同制作し、国民への普及啓発に努めてまいりました。この度、啓発冊子の内容をわかりやすく表現した動画版を制作し、さらなる啓発に繋げることを目的としています。

【監修】

- ・東京大学大学院医学系研究科老年病学 教授 秋下雅弘
- ・厚生労働省

【制作】

- ・一般社団法人 くすりの適正使用協議会
- ・日本製薬工業協会

【活用】

本動画を薬局等のデジタルサイネージや各種イベントでの上映などで積極的に活用いただけるよう、活用シーンに合わせて3つの長さ（長編、中編、短編）の動画コンテンツを作成しました。

本動画は、両団体のウェブサイトでご覧いただけると共に、両団体のウェブサイトからダウンロードが可能です。本動画を高齢者の一人ひとりに是非ご覧いただきたく、URL や QR コードの普及等、是非ともよろしく願いいたします。

想定活用シーン

- 長編（約4分）
 - 薬局での勉強会等への研修資材としての活用、各種イベントや市民公開講座等での上映
- 中編（約2分）
 - 薬局でのデジタルサイネージ等での上映、各種イベントや市民公開講座等での上映
- 短編（約1分）
 - 薬局でのデジタルサイネージ等での上映



【タイトル】
あなたのくすりいくつ飲んでますか？



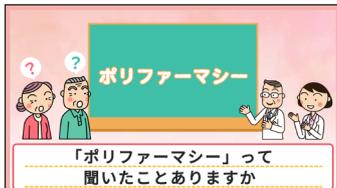
【NA】
高齢になると、くすりの数が増えて副作用が起こりやすくなるので注意が必要です。



【NA】
病気が増え、受診する医療機関が複数になることもくすりが増える原因となります。



【NA】
高齢者では、使っているくすりが増えるというデータも増えるというデータもあります。



【NA】
「ポリファーマシー」って聞いたことありますか



【NA】
きちんとくすり飲めなくなったりしている状態をいいます。



【NA】
高齢になると、肝臓や腎臓の働きが弱くなり、



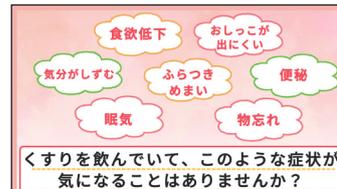
【NA】
時間がかかるようになります。



【NA】
また、くすりの数が増えると、くすり同士が相互に影響し合うこともあります。



【NA】
副作用が出やすくなったりすることがあります。



【NA】
くすりを飲んでいて、このような症状が気になることはありませんか？



【NA】
勝手にくすりをやめたり、減らしたりするのはよくありません。



【NA】
くすりが多いからといって必ず減らすべきということではありません。



【NA】
必ず、医師や薬剤師に相談しましょう。



【NA】
その情報も伝えましょう。



【NA】
きちんとくすり飲めなくなったりしている状態をいいます。



【NA】
処方されているくすりの情報を把握してもらっておくのが安心です。



【NA】
お薬手帳を持ちましょう。お薬手帳は1冊にまとめておきましょう。



【NA】
もっと詳しいことが知りたい方は、「あなたのくすりいくつ飲んでますか?」、「多すぎる薬と副作用」で検索してください



【ロゴ】
一般社団法人くすりの適正使用協議会

【ロゴ】
日本製薬工業協会